

企業短期経済観測調査（道北※地域分）
(調査対象企業数：道北※37社)

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
() 内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2024/9月	12月	2025/3月	6月	9月	12月	2026/3月 までの予測
業況判断 <良い－悪い>	16	10	11	15	13	(10) 8 (12) 0 (10)	-2
うち製造業	0	0	0	12	12	0	0
非製造業	20	14	14	17	14	10	-3
国内での製商品・サービス需給 <需要超過－供給超過>	-6	0	-6	-3	-2	-6	-8
製商品在庫水準 <過大－不足>	7	11	4	7	0	0	
生産・営業用設備 <過剰－不足>	-2	-5	-8	-8	-8	(-5) -8	
雇用人員 <過剰－不足>	-45	-49	-45	-47	-51	(-51) -56	-53
資金繩り <楽である－苦しい>	13	10	5	8	5	0	
金融機関の貸出態度 <緩い－厳しい>	23	27	20	20	14	19	
借入金利水準 <上昇－低下>	50	50	72	45	38	(50) 31	38
販売価格 <上昇－下落>	27	35	39	39	41	(46) 42	44
仕入価格 <上昇－下落>	50	59	61	61	46	(59) 61	61

全産業、前年度比%

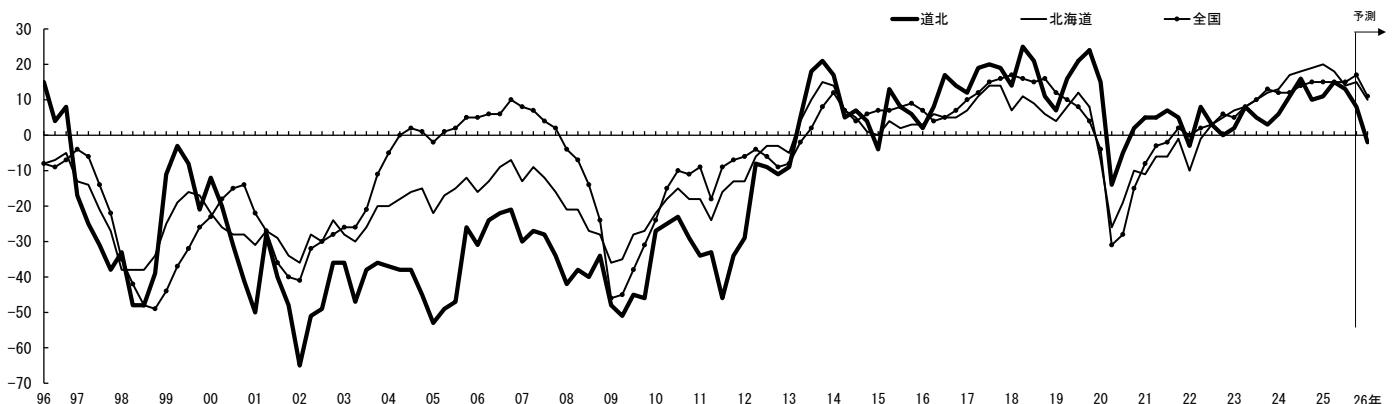
(事業計画)

<>内は前回調査比修正率%

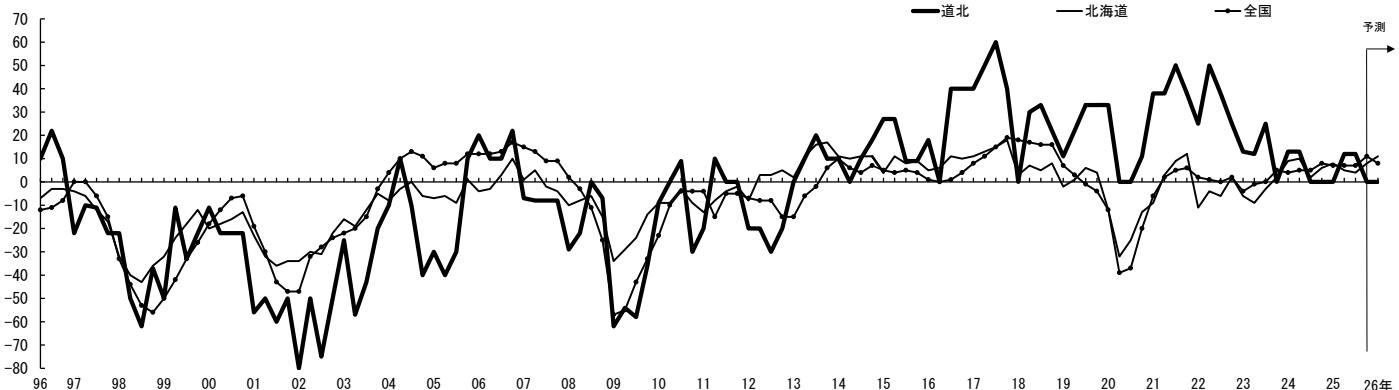
	2023年度実績	2024年度実績	2025年度計画			
			上期		下期	
売上高	-0.2	-2.5	-2.7 < -0.1>	-7.4 < -4.7>	1.6 < 3.9>	
経常利益	3.3	-11.7	-18.5 < 7.4>	1.8 < 23.2>	-31.3 < -4.0>	
当期純利益	22.9	-24.9	-25.0 <-11.3>	-27.9 <-20.0>	-23.4 < -5.9>	
設備投資額	43.1	-17.9	27.0 < 0.3>			

2025年12月短観・調査結果

業況判断D. I.（「良い」 - 「悪い」、%ポイント）



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2025年12月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 37 社（製造業 8 社、非製造業 29 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 37 社）
- 回答期間：2025年11月11日～12月12日

1. 業況判断 DI

- 12月の業況判断DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+8となり、前回9月調査から悪化した（前回+13、前回比-5）。
 - 製造業の業況判断DIは、0と前回調査比悪化（同+12、同一-12）。
 - 非製造業の業況判断DIは、+10と前回調査比悪化（同+14、同一-4）。
- 先行きの業況判断DIは、悪化を見込み、-2との予測（12月実績+8⇒2026/3月までの予測-2）。
 - 製造業は横這い（同0⇒0）を見込み、非製造業は悪化（同+10⇒-3）を見込む。

2. 各種判断DI

- 「製商品・サービス需給判断DI<需要超過－供給超過>」（前回調査-2⇒今回調査-6）は、供給超幅が拡大した。
- 「製商品在庫水準判断DI<過大－不足>」（同0⇒0）は、過不足なしの水準で横這いとなった。
- 「生産・営業用設備判断DI<過剰－不足>」（同一-8⇒-8）は、不足超幅が横這いとなった。
- 「雇用人員判断DI<過剰－不足>」（同一-51⇒-56）は、不足超幅が拡大した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断DI<楽である－苦しい>」（同+5⇒0）は、楽である超幅が縮小したほか、「金融機関の貸出態度判断DI<緩い－厳しい>」（同+14⇒+19）は、緩い超幅が拡大した。この間、「借入金利水準判断DI<上昇－低下>」（同+38⇒+31）は、上昇超幅が縮小した。
- 価格面についてみると、「仕入価格判断DI<上昇－下落>」（同+46⇒+61）は上昇超幅が拡大し、「販売価格判断DI<上昇－下落>」（同+41⇒+42）は上昇超幅が拡大した。

3. 事業計画

- 2025年度の計画は、売上高は前年度比-2.7%、経常利益は同-18.5%、当期純利益は同-25.0%、設備投資額は同+27.0%となっている。経常利益、設備投資額は上方修正されたが、売上高、当期純利益は下方修正された。

以 上